

平成31年度 有料道路事業の新規導入について

- 無料の高速道路の4車線化については、国土幹線道路部会が平成29年12月にとりまとめた「高速道路の安全性、信頼性や使いやすさを向上する取組 基本方針」において、渋滞緩和や時間信頼性向上など広く利用者の利便性向上に寄与することから、負担の公平性や将来の維持管理に係る税負担を軽減する観点より、整備の経緯等を踏まえつつ、地域の意見を聴取した上で、利用者負担(有料事業)により整備すべきとされたところである。
- こうした方針も踏まえつつ、一般国道201号 八木山BPについては、
 - ・自動車専用道路であり、4車線化により渋滞緩和や時間信頼性向上など利用者の利便性が大きく向上すること
 - ・深刻な渋滞や事故対策のため、4車線化にあたってはスピード感ある事業展開が必要であること
 - ・地元福岡県からも、「早期かつ確実な整備のため、直轄事業と有料道路事業を組み合わせた整備方式(合併施工方式)の導入」を要望されていることから、4車線化にあたり有料道路事業の導入を図ることとしたものである。
- 有料道路事業の導入にあたり、事業の責任分担及びプロセスを明確化するため、事業主体及び施行区分について社会資本整備審議会道路分科会事業評価部会で審議いただくものである。

今回の審議対象の高速道路会社施行事業箇所について

[有料道路事業の導入関係]

路線名	起終点	延長	内容
国道201号 八木山バイパス	篠栗IC <small>ささぐり</small> ～穂波東IC <small>ほなみひがし</small>	約13.3km	有料道路事業の新規導入

一般国道201号 八木山バイパス(篠栗～穂波東) [有料道路事業の導入]



一般国道201号 八木山バイパス(篠栗～穂波東)に関する経緯等

<経緯>

- 昭和52年5月有料道路事業許可(日本道路公団)

- 昭和60年2月暫定2車線開通

[料金(平成26年9月時点)]

普通車:530円

大型車:800円

特大車:1,940円

- 平成26年10月償還完了→直轄管理(無料化)

<無料化前後の交通量>

無料化前:約13,000 台/日 (H26.9.26実測)

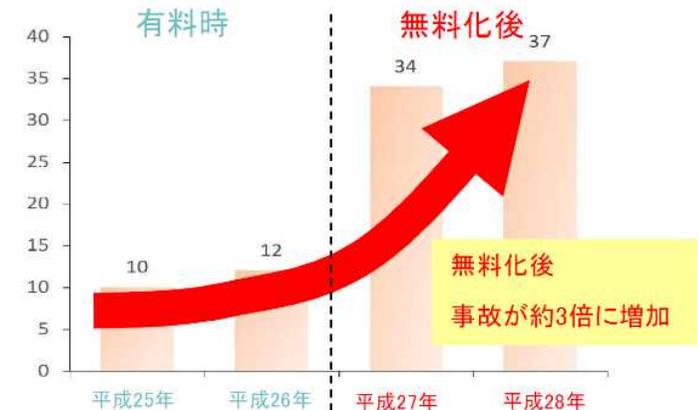
無料化後:約25,000 台/日 (H27道路交通調査)

渋滞発生状況



※福岡県より提供

人身事故発生件数

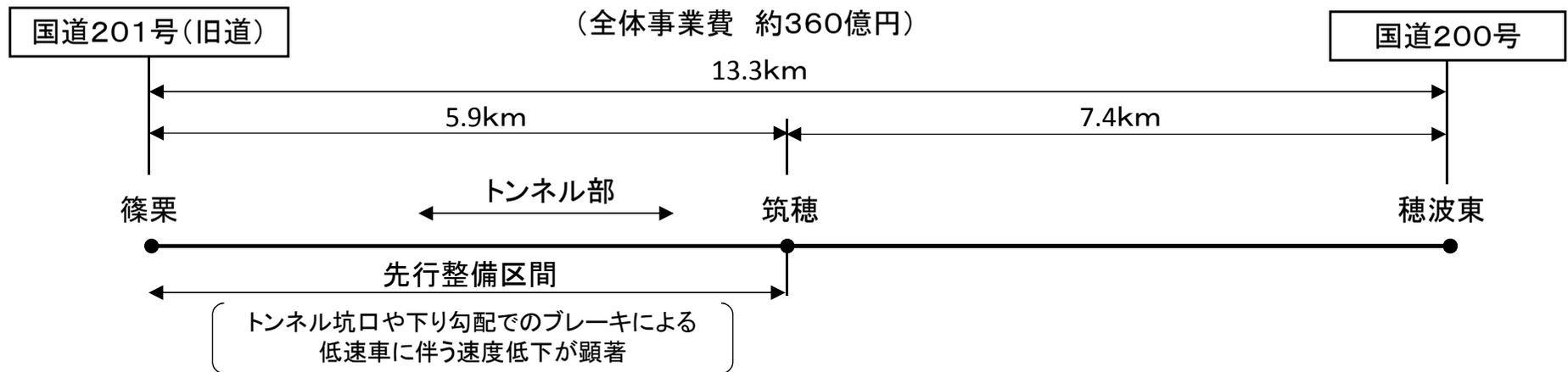


※福岡県警データより福岡県が作成

一般国道201号 八木山バイパス(篠栗～穂波東)に係る有料道路事業の導入及び施行区分 (案)

- 有料道路事業(料金収入)と公共事業(税負担)の組み合わせにより、対応する。
- 料金については、
 - 相応の交通量が見込める一方で交通が過度に集中せず速達性が確保できること
 - 整備の緊急性に鑑みスピード感ある事業展開が可能となる有料投資額を確保できること
 等を総合的に勘案して、普通車:250円+消費税とする。

<施工区分図>



舗装・設備工事	有料道路事業 (西日本高速会社)	約110億円
上記以外	公共事業	約250億円

一般国道201号 八木山バイパス(篠栗～穂波東)に係る 有料道路事業主体について(案)

○ 八木山バイパスについて、

- ①平成26年度の無料化前は西日本高速道路株式会社が管理していたこと
- ②西日本高速道路株式会社が当該区間に有料投資を行う意向があること

以上から、西日本高速道路株式会社を有料事業主体とする。

高速道路会社の意向

[西日本高速道路株式会社]

ご照会のありました一般国道201号 八木山バイパスの4車線化事業につきましては、道路利用者の安全・安心の確保及び円滑な走行環境の確保という重要な役割を担っており、平成26年9月30日まで弊社が管理しておりましたことから、弊社が当該区間に有料投資を行い実施する意向です。

当該事業の実施に当たりましては、弊社の建設・管理に係る技術・ノウハウ・人材などの経営資源を活用することにより、効率的な整備を進め、一日も早い完成に向け、最大限の努力を図ってまいります。

一般国道201号 八木山バイパス(篠栗～穂波東)に係る関係自治体の主な意見

[福岡県の意見]

国道201号八木山バイパスについては、平成26年10月の無料化後、交通量が倍増し、片側1車線であることから、朝夕を中心とした慢性的な渋滞の発生や、事故の急増さらに、事故等による長時間の通行止めの発生など、円滑かつ安全な交通の確保に大きな支障をきたしている状況にあります。

筑豊地域と福岡都市圏を結ぶ交通の大動脈である八木山バイパスのこのような状況の解消は喫緊の課題であり、これまで、県議会や関係市町村とともに、政府に対し当該区間の4車線化を要望してきたところです。

つきましては、平成31年度において、新規事業化を行い、早期完成供用が図られますよう、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、事業の実施にあたり、確実な早期整備の観点から、直轄事業と有料道路事業を組み合わせた整備方式を検討いただき、その料金設定については、平成26年度の無料開放前の料金(普通車:530円)を考慮して、この料金の概ね半額程度といった利用しやすい料金水準となるようお願いいたします。加えて、整備については、筑穂IC以西での交通混雑の実態を考慮し、整備効果を早期に発現させるために、段階的な4車線化の供用を検討いただきますようお願いいたします。